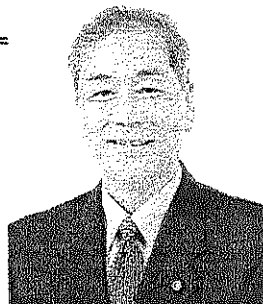
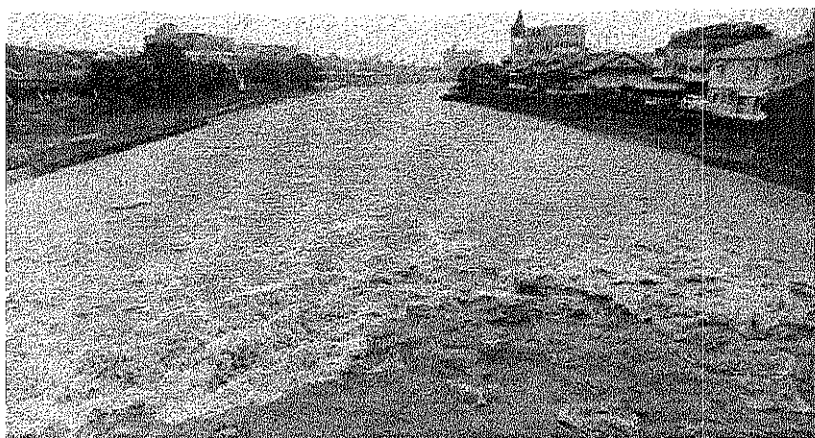


# こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2018年7月15日号



記録的な大雨で、各地で河川の増水、土砂崩れなどが続出しています。井上議員も、5日～7日、カップを着て自転車で区内を見て回り、特に桂川や鴨川の水位を監視、また各避難所や各役所等と情報交換、激励しました。写真上は鴨川の九条跨線橋下流にて(7/6昼)。写真下は地震の後、雨の中、ブロック塀の調査を続けている一コマ。



## 公的な責任と役割発揮で 災害から人命と安全を守れ

6月の地震に続き、今度は何十年に一度とも言われる大雨です。いずれも自然現象とはいえ、その被害を最小限に食い止めるかどうかは、正に人為的な問題です。耐震化をはじめ、防災のまちづくりが急務ですし、また大型事業の乱開発が土砂災害などの遠因になっているとの指摘もあり

ます。井上議員は、その後もブロック塀などの調査を続け、また保育園などから改修費用についてもおもてなす。民間とも折衝中です。民間とはいえ、公的な施設です。市が責任を持つべきです。また7月上旬の大雨では区内各地を見て回りました。鴨川・桂川

は流域面積が広く、キメ細かい監視網の一層の確立、場所によって川幅の拡大やしゅんせつ、遊水池の確保等が課題でしょう。被害の実態や、防災・減災

に向けてのご意見ご要望等、お寄せ下さい。井上議員及び共産党市議団として、今後とも現場の声を市政に取り上げていく予定です。

## 中小企業地域振興条例の制定を 中小企業団体の学習会に参加・勉強

6月28日、「京都市中小企業家同友会」など、中小企業団体による実行委員会主催の学習会が開かれ、井上議員も参加してきました。大友教授の講演の後、同

ウムがありました(写真左)。経済と社会に果たしている中小企業の役割の大切さが強調され、またその為に京都でも中小企業地域振興基本条例が必要だと強調されました。

同条例については、共産党市議団も、提案しています。市長が背を向けた状態が続いています。

## 最近の 相談から

◎元暴力団員で刑務所から出てきた高齢者ですが、暴力団は反社会的集団であること、犯罪は捕まるからではなく警察以前の問題として人権を侵害し社会的に許されないことなど、いろいろ話をし、団からの脱退や猛省を確認、今後の真面目な人生を約束、生活保護申請をお手伝い。福祉事務所でもすぐにOKでした。◎亡くなられたご家族の納骨に、市の深草墓園を紹介、一緒に行ってきました。今春から、市長と自民・公明党等が納骨料を大幅に値上げ(六千円→二万円)、しています。



民泊問題学習会で市会報告(南民主商工会、6/17)